

合處々庄拾陸處略○中 近江國六處中略野洲郡一處

天平十九年二月十一日名略

〔夫木和歌抄三十一〕やすのこほり野州又近江

正三位知家卿

人めもる關をばゆるせあふみなるやすのこほりのやすくかよはん

〔伊呂波字類抄安國郡〕近江國中略蒲生カマウ

〔運歩色葉集加蒲生〕蒲生

〔近江國輿地志略五十四蒲生郡〕當郡もと蒲生野とて廣き郊野なり、日本紀に、蒲生野縱獵の事を載す、萬

葉集には、王皇蒲生野遊獵のとき、額田の王の作れる歌を載たり、此蒲生野ある故に、郡にも名づ

けしなるべし、此郡南は甲賀郡なり、東は伊勢國界、千草山水晶嶽を限、北は神崎郡の界に隣、乾は

伊崎山長命寺山に至り、西は野洲郡の界、櫻山鏡山に接す、一郡の地勢東西長くして南北短し、乾

と巽と廣して、坤と艮との間窮迫なり、

〔古事記上〕次天津日子根命者中略蒲生稻寸三

〔古事記傳七〕蒲生稻寸、和名抄に近江國蒲生加方郡、これなり、名義はいと上代に蒲の多く生た

りし地なりしにや蓬生、淺茅生、麻生などの類なり、

〔續日本紀文武〕大寶二年三月庚寅、美濃國多伎郡民七百十六口、遷于近江國蒲生郡、

〔今昔物語十四〕修行僧至越中國立山會小女語第七

今昔越中ノ國□□ノ郡ニ立山ト云フ所有リ昔ヨリ彼ノ山ニ地獄有ト云ヒ傳ヘタリ中略其レ

ニ三井寺ニ有ケル僧佛道ヲ修行スル故ニ所々ノ靈驗所ニ詣デ、難行苦行スルニ、彼ノ越中ノ

立山ニ詣テ、地獄ノ原ニ行テ廻リ見ケルニ、山ノ中ニ一人ノ女有リ中略其ノ時ニ僧立チ留テ聞

クニ、女ノ云ク、我レハ此近江ノ國蒲生ノ郡ニ有シ人也略